京城新報

●新聞料 ▲一部二錢▲一ヶ月前金四十五錢●三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓拾錢▲郵稅一ヶ月金拾錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回金三十錢▲四號活字十四字詰一行金四十五錢
●陰曆 三月 十四日
發行編輯兼印刷人 山下英爾
發行所 京城西署西小門通 京城新報社 電話六六三番

浪居閑話(四) 上冷生

有過不知者蔽

按ずるに聖人にあらざるよりは過の無きもの非る可し、故に孔子も顏淵の賢を賛して過を再びせずと云ふ、論語に過を改めざるは之を過と謂ふと有り、已の過を知りて其の非を遂げんとする暴者あり桀紂の如き是なり、若又過ありて之を知らざる如きは愚者にして其の弊の及ぶ處計る可らざるものあるなり

時は維れ明治參拾八年拾壹月拾七日、我邦の聖文武なる天皇陛下は伊勢太廟に於て凱旋の奉告式を擧げさせられ、無前の盛典に國民皆感泣す、此時此際漢城の天地は侯伊藤公使林及司令官長谷川と李熙陛下韓圭卨朴齊純李完用等と相對して日韓保護條約を締結せんとする活動舞臺なりき、是より先き侯伊藤は大命を帶びて京城に來り公使林をして外交の衝に當らしめ、己自ら李熙陛下を要し日韓保護協約案を携へて之に迫り以て一擧に功を奏せんとす、侯伊藤、公使林共に該案を提示して曰く多言は要せず唯諾否の一言を撰ぶのみと意氣既に十三道を併吞したるが如き概あり、以て思へらく千仞に座して圓石を轉ずる如く解決す可しと豈計らん哉、漢城の天地は如斯風雲に際會する二千年來殆んど寧日無き有樣にて彼等に取りては亦來れりとの感ありて左近の感覺を動かさず例の遷延策を弄して一時を糊塗せんとする老猾の手段は流石の侯伊藤をして啞然たらしめ、毅然席を蹴て立ち大觀亭の樓上ブランデーを仰いで僅に苦悶を慰し終に策を軍隊の力を用ゐるの已むを得ざるに決して命は龍山の兵舍に下り、凱旋奉告式の十七日の曉天我陸軍は漢城に充滿し鐘路は騎兵の練兵場と化し、各大路は砲兵の運動場と變じ、陰巷狹斜亦武裝の步兵を以て充塡し、僅に倭城臺上に砲門の据付けを中止したる外純然たる戰鬪準備を了したり、此の雞を割くに牛刀を用ゆる底の喜劇は韓國の上下を震慄せしめたり、然も局面は容易に發展せざりき、參政韓圭卨擧措を失して陛下の激怒に觸れ、外部大臣朴齊純官印を遺留して協約書の調印を了する能はず、慶運宮の內外蜚語紛々人心恟々たり、暮は遷り刻は過ぎ夜に入りて尚調印をも了する能はず況んや裁可をや、事茲に至りては優柔なる侯伊藤も終に忍ぶ能はずと決然入闕せんとし司令官長谷川を帶同し時の憲兵隊長小山亦隨び護衛嚴肅雄風堂々李熙陛下に謁見し備に利害を開陳して漸く之を屈するを得たり、時辰を閱するに十七日を過ぐる二時間半(此稿つゞく)

●東洋拓殖會社の設立に就て(續)

伊藤清藏氏談

拓殖會社の發達に付き最も重要なる問題は即ち其資本を如何にして得るかといふ問題である、此事に付ては自分は前に獨逸の地代銀行に於けると同じやうに、債券の發行に依つて之を得べきものとして居つた、其債券は會社資本金の十倍以上まで發行するものとして、假に會社を一千圓とすれば一億萬圓の事業を之に行つて、土地の價格を一反二十圓と見る時に五十萬丁以上の土地に對して人を植付けるの考を述べて置いたのである、其程度は敢て之に限るといふ譯ではないのであるが、先づ其大凡を示した積りである、然るに其債券を發行するものは日本に於ては其經驗甚だ乏しく、之を發行し得る銀行は勸業、農工、興業、拓殖の諸銀行にして其種類及び行數少なからずと雖も、何れも完全に之を發行し得たものはない、勸業銀行の如き其最も好都合を以て債券を發行せし年に於ても一年僅に五百萬圓に及びたるに過ぎない現今の如きは百數十萬の債券の募集にも困難を感ずるが如き狀を呈して居る其他の各銀行に至つては殆ど見ることが出來ない、そこで私かに此勸業債券の發行せられざる所以を調査し見るのに、自分は勸業銀行は外國の制度を移して之を日本に作つたものであるけれども、不幸にして其移すや一種の直譯に過ぎなくて、其精神を見なかつた爲であると考へる、現に外國に於ける土地金融なるものは非常に大きい發達をしたものであつて、獨逸の土地銀行の債券發行高は現今は既に四十億マルクに達し居る、之を日本の貨幣に換算すれば二十億圓の巨額に當る、佛蘭西のクレデーフォンシー!の如きも此債券發行高は五十億フランであつて我貨幣に換算すれば同く廿億圓となる、而して其一回發行高を見るのに、佛國の土地抵當銀行の如きは二億フランの債券を發行するといふこと敢て珍しとしないのを日本の百數十萬圓と比して見るならば其差實に霄壤も啻ならずである、又米國の如き農業の盛なる國に於て土地金融か如何なる狀況に在るかといふのに、敢て勸業銀行の如き特殊の設備を有しないけれども盛に之が行はれて殆ど總ての銀行が一種の拓殖銀行の意味を有つて居る如く見られる、外國に於て同じ制度が此の如く發達するものであつて、日本は外國よりも尚ほ農業國として比較的重要なる地位を占めて居るものならば、我勸業銀行の發達は當然日本銀行以上に及ぶべきものであると考へるのである、然るに殆ど日本の他銀行と比較することも出來ない如き狀態に在るのは即ち債券發行が不結果なる爲めである、世人は日本の勸業債券を以て殆ど一つの重要なる有價證券として見て居らない、唯一種當り籤を樂みとする娛樂的證券の如く考へて居る、其原因は何故であるかといふのに、勸業銀行の貸附利率なるものは大藏省に依つて制限せられ、何分以上に超ることが出來ないのである、例へば今日は工業團體に對して最高七分二厘、個人に對して七分五厘と限らるゝが如きである、此貸附金利に對して銀行は尚ほ多少の利益を得ざるべからざる狀況に在るを以て、假令一分の利益を債券の發行に依つて得るものとしても、發行債券の利率さへ六分內外に限定せらるゝに至る、然るに翻つて一般經濟界の利率を見るのに、日本銀行の割引利子は今日、日步二錢二厘にして七分以上に當つて居る、何れの國に付て土地抵當債券の利率を比較して見るも、中央銀行の割引利率よりも遙に下に在る所の債券、大藏債券よりも利率の低き程度に於て發行する所の債券が成功する事を認むることが出來ないのは當然であると思ふ、現に佛蘭西の土地抵當銀行の如きは中央銀行割引利率の三分を其債券の利札として、更に之に割増金を附し、又募集の際に抽籤附獎勵金を與ふるのである、又獨逸の銀行の債券の如きも一般金融界の金利と平衡を保つて債券を發行せんと力めて居る、米國の如きは紐育、市俄古の如き大市場に於ける金利が三分或は四分の率を保つて居る場合に於ても、農業金融は敢て必ずしも是と同じやうな低利に置かない、多く七八分の利子を取つて居る、爲めに一般金融界の資本なるものは農業に必要なる程度に於て殆ど無限に農業界に注入せらるゝ所の機會を茲に見出すことが出來るのである、然るに日本の此勸業債なるものは不幸にして一般金融界よりは殆ど其資本を吸收する餘地を有して居らない、唯娛樂的に當籤を目的とする一小部分の資本家のみ此債券を買ふに至る、從て當籤の多き債券が唯其債價を保つだけにして、其他の債券は忽ちにして發行價格以下に下つて一の債券的證券としての價値を全く失つて居る、然らば他方七分二厘以上の利率を以て日本の農業界に事業を行つては全く利益を得ることが難くあるかといふに、實際此日本の農業の調査を行つた者に於ては場合に依つて違つて居るけれども、灌漑事業の如き、或は排水事業の如き、それ以上の利率を以て金を借りて事業を行ふと雖も充分之を支拂ふことが出來ることを證明して居る、例へば余が數日前に視察して來た所の土浦の閘門設備の如きものは其設置費に僅に三萬圓を費したのである、從來其必要を感じて居るに拘らず僅の金を惜んで之を造らなかつたが、今年一年の水害を免るゝことに依つて同町及び其附近の土地は既に十萬圓以上の利益を得て居ると言はれて居る、それで自分は此點に關しては新に立つ所の拓殖會社に對して望むべきことで、此の如き利子制限は成べく之を免るゝ方針に出でんことを希望するのである、債券は固より相當の利子を附するのは當然であるけれども、又之に更に娛樂の意味を附加へる爲めに割增金を附するが如きも或は是を批評する者があるけれども、其利益は寧ろ害よりも大きいものであるからして、自分は適當なることゝ考へるのである。

●哈爾賓の行政權

晩近露國は哈爾賓に於て露國行政權の確立に勉め在住外人に向つて東清鐵道租借地帶の全然露國行政範圍內にある事を明示し又最近には支那政府と交涉の結果開地に全然露國自治政を實施するに至りグロンブチエスキー將軍は一般に向ひ東清鐵道會社は清國政府との條約に由り鐵道附屬地內に於て行政權を有する次第につき此の旨心得べしと通告せり勿論該規定は今新に起稿されたるものならずと雖も若し此の規定が一般人民の上に實施され全然服從せざるべからざる曉には如何に邦人の發展に影響を及ぼすの大なるべきか川上總領事は北滿の發展政策については寸時も怠る事なく之に當り哈爾賓を北滿に於ける策源地として畫策しつゝあり今や總領事館設置後僅々一箇年にして邦人の居をなすもの七百に達し根底を茲に据ゑて眞面目に事業の開發に勉めつゝある者少しとせず此の際に於て露國行政の下に束縛され事業の發達を阻害されたらんには其の不幸知るべからず目下哈爾賓に於て商況不振なりと雖も總じて順調に進捗しつゝあり單に以上の規定が告示に過ぎずして實施されずとするも露國政策の狡猾手段に弄せられて何時しか彼等の掌中に呑まれ臍を嚙むも詮なきに至らん、三月二十二日川上領事は本邦居留民に告示して曰く「東清鐵道附屬地內に土地を租借し又は營業する本邦人より東清鐵道に提出する會社の諸規則に服從すべき旨の約定書には本官の同意を要する義につき未だ提出せざるものは本官の同意を求むべし」と勿論同地は開放地にして營業の自由を得れども租借地の關係上營業者は東清鐵道會社規則に服從し年稅として三圓を賦課せられつゝありと哈爾賓近信に見ゆ

●三月中京城商況

(京城日本人商業會議所調)

本月中に於ける商況は前月以來引續き沈靜の狀態にありしが中旬以後に至り官民の土木建築事業等に着手するもの多く同時に諸職工其他邦人の入京者は日を追て增加し建築材料を始め酒類、味噌、醬油、砂糖等大に賣行を增加し幾分活氣を呈し好況に向ひたるが如きも昨年當時に比すれば頗る不況たるを免れず殊に地方暴徒の結果は韓人向取引皆無の姿なれば從つて當地商況に及ぼす影響は尠からず想ふに暴徒鎭定を見る迄は其活氣を呈すること能はざるべき乎今市內各商店に就き調査したる處左の如し

△玄、白米　韓國より內地への出廻りも一時相當にありしが本月は金融非常に逼迫の結果漸次相場も下落の一方にして各商人の手合せ更に無き輸出米の如きは仁川港に停滯し頗る不況の狀態にあり金融の舊に復せざる間は米商界の將來茲暫く見込無きが如し値段に於ては前月より石に付き三、四十錢方下落せり

△大、小麥　地方よりの出廻り思はしからず爲めに各商人間の手合せ皆無の姿なり値段に於ては前月と大差なし

△大、小豆　相當に出廻りあれども支那銀元價額の變動ありし爲め內地市場望人尠なく閑散の姿にして依然弱含みの氣配を呈せり値段に於ては前月と變りなし

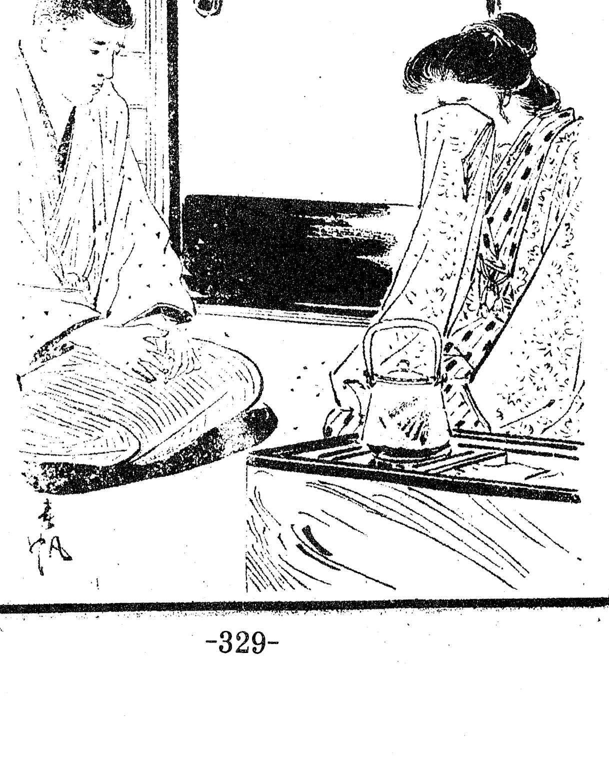
△洋金巾　生金巾にあつては相當の賣行ありて稍や好況なり晒金巾類は目下需用期に向ひつゝある爲め相應の賣行あり値段に於ては前月より反に付廿五錢方下落を呈せり

△和金巾　毎年の例によりて追々夏氣に向ひ目下賣行減少せり且つ內地糸價の暴落等より來る影響を受けたるにや各種類共前月に比し六圓方下落せり

△紡績糸　賣行相應にあり母國に於ける綿糸の下落は何れも賣急の爲めならん然れども月末に至りては相場も保合となり時々一圓內外の昇降を見たり當地相場も茲暫時は持合の姿にて在荷は京仁共相應に停滯せり値段に於ては前月よりも捆に付き二圓方下落せり

△日本酒　目下各地方諸工事の開始と共に邦人の日々入京するもの多く故に前月よりは賣行良好なるも價段に於ては大差なし

△味噌、醬油　日增賣行良好なり殊に本月下句は內地軍隊の渡韓に伴ひ地方各所に駐在軍御用として需用多く亦た味噌は本月に入りて各店共非常の賣行あり品拂底を來せし有樣なり是は地方軍隊に於ける需用の增加と邦人の入京者多きに原因するならん價段に於ては前月と變りなし



小說 紋のみだれ (百十六)

永井櫻園

熟柿臭き息を紛々させて居る勇五郎の樣子を見た山田は、若し金子が出來なかつたと言へば、忽ち文句を言ひ出すに相違ないと思つたが、さりとて、出來なかつた金子は出來なかつたと斷るより外に途が無いので心配爲ながらも、

「……お父樣……何とも申譯の致しやうもありませんが、實はその……今日がお約束の二十七日ですから、甚麼に奔走しても今日中には金子を作る意で、もウ二三日前から毎朝々飯も食べないで、今日などはほの暗い中から心當の家へ出掛けて今まで足の突支棒になるまで奔走爲ましたが、不在で會へない人もありましたが、何うもその御存じの通り餘り年末に押詰つてるもんですから、縮は欲しいけれど、兎に角春になつてからと、言ひ合したやうに何所の家でも斷つて了うのです、けれども私の金子を作るのは、他に方法は無いので、縮を賣るより致方が無いんですから泣き附いてなりと金子にして歸らうと、それからそれへと添書を貰つたりなんかして、能るだけの盡力した末に漸く某家で直段に依つては殘らず引受けても宜いけれど、何にしても夜では色彩の工合なり、總てが能く見へないから、左に右預つて置て、明日緩々拜見した上縮も氣に入り、直段の折合も附いたら貰う事に爲やうと言はれて、縮をその家へ預けて置て歸つて參りました、然う云ふ都合で今日もまだ金子に爲る事が能ないで歸りましたが、明日は何うにか都合が附くだらうと思ひますから、誠に相濟みませんけれど、もう一日お待ち下さるやうにお願ひ致したうございますが如何なもんでせう。」

「おい／＼山田さん、笑談じやあないぜ、それじやあれほど堅い約束して置きながら金子が出來ないと言ひなさるんか、出來ないなら出來ないで、早く斷つて下さりやあこの歲末の忙しい日を正午過から十時まで、もノンベンクラリと遊んで待ちは爲ないものを、あんまり馬鹿に爲なさんな、一體今日は幾日だと思つて居ます、暮の二十七日だよ、拂ふべきは拂ひ、異似事のやうな事でも正月の支度も爲なきやあならないに、二十七日になつても金子が出來なかつたら何うするんだ今も聞いて居りやあ、縮が賣れるとか賣れないとか云ひなさるが、その縮物が賣れやうと賣れまいと、私は金子さへ貰やあそれで可いのだ。しかし、いくら怒つて見た所で、腹を立てゝ見た所で、無い金は無いんだから、ではもう一日待つ事に爲やう、まつ事には爲るが、その代り、明日までまつて見て、若も金子が出來ない節は、お縫は明日限り連れて歸るから然う思つて下んなさい、それが不承知なら今晩五十圓の金子を耳を揃へて渡して下さい、何れでもお前さんの宜い方にして下さい、でなければ、私は此まゝ家へは歸らないから然う思ふて貰ひませう。」

山田は、明日になつて果して金子が手に入るや否やは、頗る不安であるが、若も勇五郎が辭に背けば、夜の明けるまでも座り込むで歸らむのみか、お縫を連れて歸ると言ひ出すかも知れぬのである。

明治二十年創立
日本火災保險業の開祖
資本金壹千萬圓
東京火災海上運送保險會社
社員駐在所京城本町二丁目

京城新報

鮮明なる解決を急ぐ

斷じて行へば鬼神も避く、此格言は何人も言ふ所にして珍しからざるも、我統監府に對しては特に適切の警句たるを思はずんばあらず。

英國の植民政策發展も此格言の實行に外ならず、獨逸に於ては殊に其然るを思ふ、獨逸帝國の統一、波蘭の統治、亞弗利加殖民地の政策を見るに斷行は遺憾なく發揮せられたり、維廉帝、比斯馬克、莫爾トの三傑は斷行の化神なり、獨逸統一の爲には、墺と戰ひ佛と爭ひ、能く鬼神を避けしめたり、波蘭土統治の如きは牛刀鷄を割くの觀あるも、亦以て毅然たるもの也。

我帝國が清と爭ひ、露と戰ひ、能く鬼神を避けしめ、帝國海陸軍の光榮を發揮し、列國を驚歎せしめたり、然るに帝國多年の宿題たる韓半島の合併すら斷行する能はず、保護統治へ之の如くならざるは不斷も亦甚しからずや。

帝國の發展に支障なくんば、余輩は當局者の優柔不斷を責めざるも、近く滿洲全開放の免れざるを知るに於ては、韓半島の鮮明なる處置は避く可らず、然らざれば帝國發展の上に於て大なる支障あらむと恐る也。

更に韓半島を論ずれば、帝國拓殖の事に及ばん、殊に此處を輕視すべからざるは拓殖會社の設立を見るも雖も、現狀の儘にては到底大なる發展を豫期する能はず、國民を率て拓殖事業を爲すが如き氣概に乏しく、拓殖の前途に光明を見ず、而して拓殖會社の外資輸入を試みむとするが如く、豐富なる資金の必要は言ふ迄もなし、然るに不統一日運動や、暴徒の跋扈する如きことありては、如何に政府の保護ありと雖も、投資者の躊躇する所なるを知らざるべからず、富の資金を必要とするならば、拓殖經營の點よりするも保護統治以上の鮮明なる處置をなさゞる可らず。

然るに當局者は之等の問題を眼前に控へつゝ、保護統治へ漸浸たる處置を取る能はず、益々排日思想を養成しつゝあるに至る、余輩は激鳴以て警告を與へざるを得ず、古來より優柔不斷は韓國の特長なりしも、我が統監政治は何故に苦しんでか韓人特有の優柔不斷に倣はむとするや。

雜報

●日本の對間島主張　間島問題に關し日本は清國に讓歩したりとの說あるも、說によれば我政府は此程清國政府に對し左記三ケ條の要求を容れざるに於ては該問題は永久に解決せられざるべき旨を通牒せりといへり

一、日本政府は間島在住の韓國人を保護する權利を有すること

二、清國政府は間島に於て清兵のために蒙りたる日本人の損害に對し相當の賠償をなすべきこと

三、日本政府は任意に天寶山金鑛採掘を許可するの權利を有すること

●道書記官會議　本月下旬內部に於て道書記官會議を開催する筈にて書記官へ本月廿五日迄に上京すべき旨通知せりと云ふ

●ソンタク邸の午餐會　太皇帝陛下の御內命により承寧府總管趙民熙氏は陛下の御名代として近日大官及其他勤勞ある左記の人々を十一日ソンタク邸に招待せり

宮內大臣李允用、法部大臣趙重應、侍從院卿閔丙奭、承寧府總管朴箕陽、承寧府侍從長金泰熙、同侍從徐丙協、[illegible]、大韓醫院長佐藤進、大韓醫院副院長藤田章嗣、同醫官佐々木四方志、同醫官鈴木謙之助

●慶尚南道の暴徒　近時居昌郡加北面首谷面等の地方に暴徒の出沒頻々たるを以て居昌警察署にては四月一日午後一時[illegible]巡査十一名を率ひ即時出發し邑內を距る北西約十二町の地點に達するや暴徒は早くも右側松林中より射撃を開始したるを以て直ちに應戰し左右二隊に分れて突撃せしも彼等は巧みに地物を利用して應戰し容易に退却せず一隊は增勇前進し遂に其の五名を殪し殘餘は西北方に潰走せしめ鹵獲品は銃器其他雜品若干

[illegible]

三月廿六日午後一時頃約五十名の賊徒突然山清邑に襲來し巡査駐在所を包圍發砲せしに[illegible]直ちに室內に[illegible]火を放ち[illegible]郡主事及[illegible]郡衙に侵入[illegible]他衣類器具[illegible]家屋の損[illegible]同夜十[illegible]晉州警察署[illegible]及び居昌警察署に達するや警部巡査出張し賊徒の退却したる方面に追跡せしも遂に得る處なかりしと云ふ

●暴徒討伐情報（軍司令部着）

△黄海道　長淵分遣所より出たる兵一韓兵一より成る遞步哨は三月廿八日連山遞步哨へ公用書類遞送中松禾郡湯城に於て暴徒約八十名の南方山中より射撃を受け對戰約三十分の後之を達磨山方向に擊退す死一

△慶尚北道慶州守備隊より派遣せる林田討伐隊は四月四日內七洞を出發し新院洞に於て四名の右側斥候を長任大洞に出し本隊は伊介洞に向ひ前進中右側斥候方面に當り銃聲を聞き直に長任大洞西方高地に上りたるに恰も同斥候の奇襲に狼狽したる賊徒約五十我占領せる高地に向て迯走し來るに會し之を約三十米突迄接近せしめ俄然起て要擊し其三を刺殺し二十一を射殺し且中軍將權達五を生擒し殆んど之を全滅せり捕虜權達五の言に依れば彼等の首魁は尹萬波と稱し其姉婿條某の大邱佛國宣教師に隱れ居るを以て條を介し該韓人に銃器の購入を依頼する爲め三月三十一日大邱に至り四月四日歸來の筈に付出迎の爲め長門禹我洞に至る途中なり

△慶尚南道咸陽守備隊の山田少尉は四月二日以來賊魁李宣傳の卒ゆる約三十の賊徒雲橋に宿營し在るを偵知四日下士以下二十を卒ひ急行該村に至り李を逮捕各所に合宿し在る賊と戰鬪し三時間にして之を西方に潰亂せしむ賊の遺棄せる死体九傷者多數捕虜鹵獲品火繩銃二彈藥雜品若干

△公州守備隊より出せる宮澤騎兵軍曹以下五名の斥候は四月九日午前六時頃牧峙に於て賊徒十五名に遭遇し九を殪し銃四鹵獲す

△全羅南道咸平分遣所より出たる上等兵以下五名の斥候は三月二十八日賊約廿名東村に宿泊せるを偵知し之を襲擊し其一を捕ふ

●新寧郡牙村面の激戰　去る七日午後四時二十分頃新寧郡（慶尚南道）才村面邑司總山韓巖山なるもの同郡憲兵分遣所に出頭し其申し立てに自分は當日私用のため某所（分遣所を距る約二里）に赴かんとせしに途中一韓人あり同唐谷洞に賊徒多數集り現に村端には二名の展望哨を出し警戒怠りなき由を耳にしたれば此旨報告に及ぶとの言なるよりソハ一刻も猶豫ならずと加藤軍曹外五名は一隊となりて現場に赴きしに果して邑司の報告通り村端に展望哨を配置しありしが步哨等は我が一行を見るや直ちに本隊に急報せしものゝ如かりしが時を移さず賊徒等は同地東南方約一丁許りの高地に現はれ猛烈なる射擊を我に加へしかば我は應と許りに之と交戰し約一時間の後之を擊退せしが我は尚ほ北ぐるを追ふて擊たんとせしも約一里半許の所にて遂に其の蹤跡を失ひたり其の際賊の死二負傷十火繩銃一散彈若干を鹵獲したり

●連山郡晩木洞の掃討　矢安分遣所よりの報告に依れば去る頃連山郡晩木洞に賊徒出沒すとの噂を耳にしけるにより六日午前八時憲兵上等兵中條、勘田、對馬の三氏及韓人巡查二名通譯一名一隊となりて目的地に出張したるに案の如く約二十名の賊徒等同村より東南方の小岳に向つて迯走するを認めたれば我は之を追躡せしに殊勝にも內四名の賊徒は隊を脱し蹤を回へして我に向ひしかば我は之と應戰約四十分の後擊退せり其の際我は二名を捕虜し一名を殪し又軍器數點を鹵獲したり因に同地方は客年末同郡仁川に於て日本兵の夜襲を受け猛烈なる掃討を加へられしが現に其の際暴徒等は大に狼狽し各々銃を棄てゝ迯走せし以來其の勢極めて薄弱に且つ其の數も減少し昨今は十五六名內外なりと

●高陽の賊　四月十二日午後一時頃高陽分遣所より約二里半北基蔚里に於て約二百の賊集合の報に接し高陽分遣所より和野內曹長以下六名出張賊と衝突し應戰の後賊は死四名を遺棄し釜谷方面に退却せり此戰爭に於て火繩銃三、刀一鹵獲す

●巡查隊の討伐　去る三日鏡城警察署より派遣せし巡查隊は八日午後五時「タイセンホー」の山中にて賊徒三十五名を發見し銃火を交へたるに賊は潰亂逃走し其二名を捕ふ時恰かも日沒に際し搜索出來ず死傷不明なり

●郡守の不正行爲　忠清南道結城郡守李承輔は本年一月以來縣內面居宋松奉、廣川面居金永俊、同金禰尹、吉今同等に屠獸準許狀を附與し手續料と稱して金九圓を收受し且つ郡使金重璽來をして稅金として屠牛一頭に對し金四十錢開市日每に一圓五十錢蠟燭六十本牛肉若干を徵收せしめ之れを私服せり宋松奉は開業三ケ月間僅に屠牛數五頭に過ぎざるに郡守に徵收せられたる金品總額六十餘圓にして遂に四十餘圓の損失を來し廢業の止むなきに至り郡守の不法を他言したるより郡守は三月五日使令をして宋を引致せしめ笞十六を加へたるを以て金永俊外二名は其の威を畏れ今尚營業を繼續し居れりと云ふ

●地方委員の不法　財務署と一般人民との意思疏通の機關として度支部が設けたる地方委員中不正の行爲ある者ある事は屢々耳にしたる處なるが玆に慶尚南道河東郡撰出の地方委員李舜儀なる者は各面の租稅領收員を指揮し申告費と稱し一面より三四兩宛又領收員費と稱し一結に付五六兩宛徵收をなして私服し又官吏と自稱して大小の紛爭事件を受理裁判する等の不法行爲ありと云ふ

●暴徒巡查と歸順者を殺す　全羅南道に在る第二巡查隊附巡查金良辰は專ら密偵に從事し靈光郡に於て歸順者朴承吉より賊魁金森元一閥の所在發見の密報に接し之を本部に報告し尚進んで偵察繼續中賊徒の覺る處となり巡查隊到着前四月二日同郡双內面鉢山里に於て殺害せらる又歸順者朴永吉は賊魁奇三衍の部下なりしが三月八日巡查隊之を逮捕し改悛の狀あるを認め歸順を許可し爾來靈光郡外東面蓮山洞の居宅に在りて賊狀を密偵せし事再三なりしが四月二日午後賊魁金泰元の引率せる約三十名の賊徒のため其の妻と共に銃殺せられたりと云ふ

●東洋協會專門學校京城分校卒業式　同校にては一昨十二日午前十時より大和町分校敎場に於て卒業證書授與式を擧行したり卒業生の數は三十八名にして何れも良成績を以て卒業したるは只に生徒諸氏の名譽なるのみならず創立日尚淺き同校の名譽と云ふべし當日は雨天なりしにも拘はらず曾禰副統監には態々臨場せられて訓辭を與へられ其他諸氏の訓辭祝辭等あり終りに卒業生總代某氏の流暢韓人を驚かせし韓語の答辭あり式後別席に於て來賓に對する立食の饗應ありたり當日の臨場者は副統監を始め日韓大官紳士百餘名にして何れも東洋協會敎育事業に賛成する人々なり因に今回の卒業生は已に第一銀行度支部及其他へ聘用せらるゝことに內約濟となりたる由なり記者は門田校長以下の勞を謝し同時に同校の隆盛を祈るものなり

●鶴原支部長の訓辭　別項東洋協會專門學校京城分校卒業式擧行の際同會韓國支部長鶴原定吉氏が卒業生に對しなしたる訓辭は左の如し

訓辭

玆に本日を卜し我京城分校第一回卒業式を擧ぐるに當り副統監閣下並に朝野貴紳各位の臨場を辱ふしたるは誠に本校の榮譽にして感謝措く能はざる所なり

卒業生諸子よ諸子が此の光榮ある式場に於て卒業の榮を荷ふは是れ多年螢雪の勞を積みたる結果にして余の欣喜に堪へざる處なり然れども顧て諸子の前途を慮れば任重く道遠く未だ遽に安ずべからざるものなり

惟ふに諸子は自今各其業に從ひ分に應じ或は官に或は私に韓國開發の爲め盡瘁する所あるべきならんも韓國開發の事たる固より至難の業にして一朝一夕の能くする所にあらず千難撓まず萬艱屈せず始めて其目的を達し得べきのみ今や帝國の責任は日に重きを加へ施設の要務は愈々滋し此の間に處して帝國の進運に貢獻せんとする諸子の任亦重しと謂つ可し之を盡すの道唯至誠以て其職に勉め斃れて後已むあるのみ諸子願くは自愛以て旃を力めよ一言以て訓辭となす

明治四十一年四月十二日

東洋協會韓國支部長　鶴原定吉

●農林學校卒業式　在水原農林學校にては明十五日午前十時より本科第一回卒業證書及林學速成科第二回修業證書授與式を擧行する由なり

●東洋專門學校卒業生氏名　別項記載の如く、一昨十二日擧行せし東洋協會專門學校卒業式に於ける卒業生の姓名は左の如し

小島茂樹　小池幸成　粟[illegible]正治
平山亮三　鹽見三五　宮崎匡雄
作田藤策　內藤寬三　水野精二郎
大村綱藏　足立俊雄　高橋千代治
笠間大三郎　林晃英　山內岩彥
篠塚隆次郎　石山保次郎　平原保
松下角治　[illegible]彌吉　高松次郎太郎
檜上富次郎　岸泰助　宮崎廣
田丸三次郎　舛水泰二郎　山崎陳平
鈴木美也雄　大平徹　江成藤太郎
後藤健吉　藤田文一　福迫忠亮
青木俊一　馬場保　岩野退助
色川元市　松本茂

●仁川紀念祭期日　仁川開港二十五年祭は來る五月五日より向ふ一週間擧行する筈なりしも其後諸設備意外に捗取らず到底期日までには完成せざる模樣なるを以て一週間延期して十一日より始めんと主張せるもの多く多分延期することゝなるべく從つて最終日に擧行すべかりし市民の大祝賀會は第一日に於て擧行する筈なり

●紀念祭委員會　昨日午後七時より紀念祭商事委員會を開き深更に至るまで諸般の計畫に付て凝議する處ありたりと

●增派憲兵の着仁　本月一日より新たに陸軍御用船となりたる日本郵船會社の江陽丸は明後日仁川に入港する筈なるが同船には駐剳憲兵增派隊約百名搭乘し居る旨仁川陸軍運輸部に通知ありたりと

●送迎船の修繕　來る十六日頃伊藤統監を乘せたる[illegible]妻艦が仁川に入港するを以て仁川稅關にては送迎艤備の爲目下各小蒸滊船を修繕し居る由

●電信漸く通ず　八日以來內地に於ける暴風の爲東京大阪間の電線に故障を生じ不通となりたることは既報せし處なるが去る十一日漸く大阪東京間及大阪橫濱間の電線は迂回線を以て通信し得る樣になれり

●道路修繕の竣工　本町通の道路修繕は昨年よりの繼續にして修繕に着手せしも冬期結氷に支へられ本年三月下旬より竣工事に着手せしも進捗を見ざりしが民團役所の督勵に依り一兩日中には全部竣工の筈なり

●群山稅關廳舍の落成期　群山稅關の新廳舍は來月一日を以て其落成式を擧ぐる豫定なりしも工事豫期の如く進捗せざりし爲遲延を來し來月十日頃に其の落成式を擧ぐる筈なりと云ふ

●京城小學校の始業式　京城民團立第一小學校及び第二小學校とも昨日新入學者の始業式を執行せり

●韓國招魂祭　昨十二日奬忠壇に於て韓國招魂祭を執行し諸大臣參拜せりと

●近藤事務官の歸任　度支部就任事務官近藤左右一は昨日夜歸任せり

●遭難稅務吏の吊慰金　既報高敞財務署長財務署主事徐相達茂朱財務署長財務主事張祐文兩氏が暴徒の難に遭ひたるに對し吊慰金を贈るため鈴木度支部司稅局長以下發起となり度支部管轄の各官廳に奉職せる吏員に左の書狀を送りて應分の醵金を求めたりと云ふ

謹啓益々御精適之段奉大賀候陳は地方に於ける暴徒は一時稍々鎭定の模樣ありしに近時々候の溫暖に向ひたると共に餘燼再燃の兆候を呈し各地到る處に橫暴を逞ふし或は財務廳舍を燒燬し或は面長及び公錢領收員の居宅を襲擊して公納金を掠奪せる等我財務行政上に妨害を加ふる事尠少ならず就中其の最も悲慘にして痛悼に堪へざるものは高敞財務署長財務署主事徐相達氏の匪徒の毒手の斃れたると茂朱財務署長財務主事張祐文氏の頭部に重傷を負ひたるの二事とす共に是れ職務に殉したるものなるが故に官に於ても相當の恩典ありて二氏の死傷を吊慰せらるべきは當然なりと雖も余輩同僚に在りても亦私情忍び難きものあるを以て應分の醵金をなし吊慰の資に供せんとす御同感の諸君は左の標準に據り御出金相成度此段得貴意候匆々敬具

一、醵出金總額の內三分の二は故徐相達氏遺族に贈り殘余は張祐文氏に贈る

二、各自の御出金額は月俸百分の一を標準とし厘位以下は切上げ錢位に止る事

三、御送金は五月末日限り度支部司稅局藤川書記官宛送付の事

●近事片々

▲天下　太平珍說なく片々の評する材料少なし不相變誤託を並べて責を塞ぐ儕も憐れ

▲東京　の大雪陽春の候珍し櫻田門外血染の井伊大老の面影雪幕末の光景聯想せらる

▲幕末　陽春の雪は水戶浪士の活劇となる時ならぬ今春の雪は夫れ何等の活劇かある

▲櫻田　門外雪を染めたる豪傑井伊の鮮血は幕府瓦解の魁となる今陽春の雪何の徵ぞ

▲東海　沿岸低氣壓起り十年來の暴風雨線路の破壞電柱折倒無數と風伯雨神の祟怖し

▲反之　京城の春色靜閑れされど政界の低氣壓將さに襲來せんとしつゝあり穴面白や

▲一年　一度滿都の士女を樂しましむる櫻花は雪の爲に散果ぬ落花も亦無慚を嘆たむ

▲月に　叢雲花に嵐しとは釋氏が無常を說く絶好の比喩眼前に之を見る士女發心せむ

▲暴徒　の爲生命財產の損害を受けし邦人の賠償は如何になりしや豈夫忘れはしまい

▲斯る　悲慘の問題は早く解決して彼等の淚を拭はざる可らず當局者何故遲々させる

▲皮下　血あり眼底淚あるものは之を傍觀するに忍びず對韓策の犧牲も玆に至て慘也

▲捨名　取實の次官政略は最早事實に於て失敗也日人官吏の骨あるもの皆憤慨切齒す

▲韓官　等の日人官吏に對する擧動は傍で見るさへ癪に障る嗎や御當人はつらかろう

▲韓大　臣等の橫暴を忍で統監政治に効あらばまだしも却つて排日熱昂るとは情ない

▲堪忍　も懷柔も相手にこそよれ犬に異珠を與へ猫に小判の如き愚劣は俺迄避くべし

▲伊藤　井上桂の三元老鶴駕に扈從して山口にあり而も重要なる協議纒らむとの說有

▲東京　で纒らなく長州下んだり迄持越すとは如何に重要とは云へ御念の入たる噺也

▲大阪　道頓堀に東西南北と云ふ作者江戶堀料理店の娘に惚られ情を通せる色男あり

▲其娘　聟取りに就て母親苦心し東西南北に絶緣歎願の手紙を送る其返事が甚面白い

▲手切　の返事は端書でヘン與三郎や蝙蝠安ではあるまいし淡如たり甚振て居る

▲姬路　驛附近女同志鐵道心中あり死なねばならぬどんな事情があつたか可哀そうに

▲陽春　氣の浮く時に何時も自殺が多いが花に浮れ月にあこがれる半面には悲酸多し

▲此現　象を硏究したらば面白いだろう哲學者の領分か例の文士とやらの領分なるか

●中島參謀の上京　本日東京に於ける陸軍參謀會議に列席のため軍司令部附陸軍大尉中[illegible]

同課長代理を命せらる

●韓官任免

任官立漢城師範學校教授叙奏任官四等　松本宗[illegible]（四月十日附）

任觀測所技師叙奏任官四等　六笠弘[illegible]
中樞副賛議　金彝浩
[illegible]本官　同　李[illegible]
任林業事務所技師叙奏任官三等　[illegible]
同　上　[illegible]
同　上　[illegible]

任林業事務所技師叙奏任官[illegible]等（四月十一日附）

公人[illegible]

△佐藤成敏（工學士）　十一日釜山より來り[illegible]
△[illegible]（[illegible]小學校訓導）　十一日來京
△川島仙吉（大倉組大連支店長）　十二日仁川より來り天眞樓へ投宿
△豐永眞里（水原勸業模範場技師）　十二日[illegible]
△石原半右衛門（釜山民團長）　十二日出京原金旅館へ投宿

[illegible]

●中島參謀の上京　東京に於ける陸軍參謀會議に列席のため軍司令部附陸軍大尉中島參謀は本日上京せり

●總督府文書課長代理　統監府文書課長男爵佐竹義準氏不在中通譯官前間恭作氏は同課長代理を命ぜらる

●韓官任免

任官立漢城師範學校教授敍奏任官四等　松本宗而

任觀測所技師敍奏任官一等　和田雄治

（四月十日附）

任觀測所技師敍奏任官四等　六笠弘毅

中樞副贊議　金奉浩

任林業事務所技師敍奏任官三等　上岡

同　上　柳田由藏

任林業事務所技師敍奏任官四等

（四月十日附）

公人往來

△佐藤成教（丁事十）十一日釜山より來京補尾旅館へ投宿

△平良賀（仁川小學校訓導）十一日來京三日月旅館へ投宿

△川島稙吉（大倉組大邱支店長）十二日仁川より來り天眞樓へ投宿

△豐永眞里（水原勸業模範場技師）十二日京城

△石原半右衞門（釜山民團長）十二日出京原金旅館へ投宿

●十二日參内者　昌德宮は計七十一人（内外人四人）重なるは主殿院卿李…、承寧府侍從…等

十二日慶運宮計六十六人（内婦人三十六人）重なるは…醫學博士、…、統監府通譯官夫人、承寧府侍從…、德院侍從李…等なり

●美人の怨言

昨夜友達許に遊び、快心の談につい時間を過ぐし、十二時すぎ家路に廻る道すがら、朧の月に背を向けて、日の出町の官舍の前を過ぎる折柄、格子の前に佇める、まだうら若き妙女あり、馬琴の文句にあらねども眞白に細き手を上げて打たくも力弱竹の、籬に立てる女郎花といふ風情にて、いとも微かなる聲音もて、喃松村樣あまりぢやらすも程こそあれ、まだ春なるに浮世の秋の秋風は無情人の心かやと、繊弱もぎきの怨み言、さても其後さるほどに、犬村ならぬ松村さまは、寢惚け眼を擦りつゝいざとばかりに戸を開けぬ、いまゝで怨みし妙女は、可愛き人を見たゝめか、怨みは解けて微笑と、言はるゝまゝに手を取られ、軈て奥にぞ入られける、春の夜長の睦言に如何なる夢や結ぶらむ、たゞ聞きたきは、この妙女の素性なり、髪は銀杏返しにて、圓顔で襟元までくつきりと白く、夜目にはしかと分らねど、古い文句だが、年は二八か二九からぬをズット通り越し、廿の上を二つ三つ、仲居か、藝妓か、淫賣か、それとも主ある手活けの花か、斯くまで棚御しするからは、そんじよそこらの粹樣等は、アーあれかとうなづくことは知れたこと、まづ記者は見聞のまゝをかくの通り穴賢

●永登浦より

▲矯風會春季大會　永登浦居留民間に組織せし矯風會は來る十五日を以て日の出館に於て春季大會を開催することに決せり當日の問題として無能當局者に辭職を勸告するの件、避病院設置の件、兒童停學に關する件、現今の役場を解散せしめ更らに創立するか又は現役場を持續するか等の件に就て提出せらるべしと云ふ▲清潔法施行　當地にては菅谷駐在巡査監督の下に昨今清潔法施行中なるが市中一般に大に清潔となれり▲西洋洗濯屋　本町通りの東南吉三郎は今回仁川より西洋洗濯に熟練なる職人を雇入れ和洋一切の洗濯業を開業し一般に丁寧と親切とを旨とし得意の爲めに應じ居れり

●龍山の火事　昨十三日午前一時頃龍山新市街十五間道路筋德久氏所有の煉瓦工場物置より出火し其の二棟を燒失し二時に至りて鎭火せしが原因は未だ明かならずと

●自轉車を飲む　世間には家藏田畑を飲む者あり自轉車位を飲んで何で新聞に書くほどのことがあるものかとの早合點をせず左の列記の數々を見て成ほどこれほど飲むものかといふは圖太い奴と承知がして貰いたい其の當人は明治町一丁目の自轉車屋山本傳四郎方の雇人福岡縣三潴郡坂下町の生れ高橋歌敏（二十）といへる者にて客年七月一日より山本方に雇はれ最初の内は謹直に勤め居りし由なるが去る一月頃より南大門通りの飲食店花野屋を始め其他の淫賣料理屋に屢々登樓し身分不相應の金錢を浪費するより其の筋にては早くも不審を爲し一昨日午前三時彼れが南山町三丁目東洋貿易株式會社支店に居れるを引捕へて警察署へ連れ歸り訊問に及ぶと初めは兎や角巧みに遁辭を吐き居りしが嚴重なる訊問に遂に包み切れず取敢へず自白したるもの丈にても左に列記せしほどにして此の外に尚ほ幾縢ありやは當人も記憶し能はずといへる由なるが能も〳〵斯くまで遣りつけたるものかな

△一月南大門通り三丁目蒲田某方より自轉車修繕料掛金一圓五十錢を受取りこれを費消す

△二月廿九日自宅の店頭に置きある自轉車附屬品（代十五圓）を竊取し永樂町二丁目田代某に入質し金五圓を借り其日明治町二丁目飲食店みどり屋にて費消

△二月二十日陸軍衞戍病院より修繕のため預り居たる自轉車代金三圓を高橋覺藏の名を以て受取り飲食代に費消す

△同月五日明治町三丁目南某より修繕金二圓五十錢を受取り前同樣

△同月十一日大和町一丁目濱村某より修繕料八圓五十錢を受取りこれを南大門通三丁目飲食店花野屋にて費消

△三月五日龍山旭町小林某より同金四圓を受取りこれも花野屋にて費消

△同月十日自宅店頭にありし自轉車附屬品金二十圓の物品を竊取しこれを大村質屋に金五圓にて入質し明治町吾妻樓にて費消

△同月二十日龍山大林組より修繕の委託を受け自轉車一臺（代百十圓）を竊取しこれを福田質屋に金十圓にて入質し同じく花野屋にて費消

△同月二十日明治町一丁目古物商安部準人より賣却方の委託を受けたる自轉車を金二十九圓にて賣却し其代金を安部に支拂はずして費消

△同月二十日自宅にて自轉車一臺（代十五圓）を竊取しこれを高尾某に金五圓にて入質し

△同三月二十日自宅の店頭にありし自轉車一臺（代六十五圓）を竊取しこれを七圓にて入質し旭町一丁目山陽亭にて費消す

△同月十一日西大門外韓人崔某より修繕料二十圓を受取りこれを花野屋にて費消

△同月六日本町三丁目平田某より修繕料金廿三圓を受取り同じく花野屋にて費消

△同月三日呼子警視より修繕料金五圓を受取り同じく花野屋にて費消

△同月二日自宅店頭にありし自轉車一臺（八拾七圓）を竊取し本町五丁目某に四拾五圓にて賣却し同じく花野屋にて費消

△同月六日本町五丁目某より修繕を委託せられたる自轉車一臺を竊取し金拾五圓にて入質し其代は角谷龜太郎に貸與せり

△同月六日南大門外村田旅館戸川某より修繕料金五圓五十錢を受取りこれも花野屋にて費消

△同月三日の本町一丁目藤勝組より修繕料金二圓を受取りこれを龍山某飲食店にて費消

●美人を拉し行く　一昨十二日の夜十時頃南大門外鐵橋の所を年ごろ若き一人の婦人が聲張りあげて啼き叫びつゝ荒くれ男に引き立てられて西坡方面に往きたりけり、ろも此の婦人が何者なるかは夜目にてさだかに見分けかねしも京城の何れの飲食店かに居れる酌婦ならんと察せられ如何なる仔細のあるかは知らねど彼の男の爲めならん袖も袂も引き破られて風に悩める芭蕉葉のごとき身形しつゝ屠所の羊の運ばぬ足を無理矢理に引き往かれしが其の先きは山か川か何れ悲慘の境に沈みしならんと實見生より投書のまゝ斯くの如し

●保安規則違犯　福岡縣の者にて大和町一丁目に居住する中丸種吉（三十）といへるは賭博を本業とする無賴漢なるを以て昨年八月八日正業に就くべく南部警察署にて嚴命せられたるに尚は不良のことのみ爲せるよる保安規則第一條第十項違犯として告發せられたり

●玉轉がしの禁止　福岡縣生れにて文井田直次郎といふは黄金町に賭博類似の玉轉しの營業を開始しチヨンガーを相手に不正の利を貪りつゝありて去る十二日紅門洞の金弼秀（二十）といふが一寸の間に一圓を剝ぎ取られ餘りの悔しさにこれを取戻さんと所持の物品を入質して五十錢を借り此の金にて又も玉を轉ばしたるに今度は運能く當りを得たるに直次郎は兎や角と難癖をつけて當り金を渡さゞるより警察署へ屆出て取調の結果不都合の行爲あるものと認められ直ちに營業禁止を命ぜられたり

（一般患者の診療に從事す）

前院長橋本三男氏後任として今般元福岡醫科大學醫員たりし百合野寅松氏本日より診療に從事せらる

新王城大漢門前

日韓病院

本院は最新治療法を旨とし梅毒、痳病、下疳は本院の獨特とす

腫物、婦人病には特にピール氏の酵血療法を施す

●平壤より投書　平壤仕李金等四名の連署ある投書本社に舞ひ込めり之れに依りて統監政治の敷かれ居るにも拘らず今に賣官の弊は其跡を絶ざるは嘆かはしき次第なり即ち左に原文の儘を掲ぐることゝせり

前平南觀察道使令李致植と云者は該道使令どして人民の財産を取りて大なる財産をためてを（居）たものかどつせん（突然）に六七日前に西京豐慶宮書記官とな（り）ていばてをるの（を）見て居ると人民がまたなを暴動することをたびすのは人民が暴動するのがむりでもない李を書記官になかくをくと本月中に平壤も人民が暴動するを目の前へ見て居ります官吏任免を統監府の同意を（に）依ると云ふけら（へれ）とも朝鮮は五百年以來使令李致植たるものか今日高等官を任命して居るを見れば政府はまだ（全）く無人なり某大臣の方へ五千圓の金額を運動費としてだしたのを證據入居り（あり）李を如何なる履歷を注意して居ります李の資格を左へ記す八年前に平南觀察道警務署押率を一年間居て同觀察道使令に陞任せり其の處で金をもきまた裁判所の使令に傳（轉）任して其の所で澤山の金をもき（儲け）此の使令が今年に高等官にのぼりました高等官の資格くは好いすく此の書記官は何の事かなりて居るか政府で試驗をして見たらよがろたゝねけるは罪人のしりたゝくのは實すにはやいてす平壤のねだは今度觀察使に任命しないざろかわれわれはこれもをりろしまた日本語知るものを採用すると云ふても此れは高等官は一名も無し李使令日本語しる者とくらびて見れば政府では李使令を採用するざーろ李は金を有り日本語金なし高等官はむすかしてある

●溝蓋を盗まんとす　明治町三丁目の金黄玄（十）といふチヨンガーは去る十二日本町三丁目の雜貨商龜屋の下水溝蓋を引き外づし偸み去らんとする所を捉へられしが韓人の小泥棒には困つたものなり

●頭を割つて拘留五日　原籍新潟縣中頸城郡柿崎村平民當時當地銅峴李伯善方寄留通信工夫瀧澤健藏（四十）は一昨十二日自宅へ遊びに來りし部下の人夫金春澤の頭部を毆打し負傷せしめたる廉に依り警察署に引致され拘留五日に處せられたるが同人の申し立てに依れば當日は雨天なれば朝より業を休み居りしに前記部下の人夫金春澤外三名のもの來り雨天のつれ〳〵に酒を飲み變はじけるが其の際金は他の三名のものと賭博を始めたりしに韓人の癖として言葉高く喧噪甚だしきに依り健藏は八釜敷から廢めろと云ひしに一同はソレならばと許りに暇乞をして辭し去りたるに程經て又々訪ね來りしが今度は仲間同志で喧嘩を始め將に摑み合ひとならんとする有樣なるより健藏は見ても居られず仲裁に這入りしに不法にも金は自分に仕掛り來りしより立腹のあまり頭部を撲りしに圖らずも負傷せしめたるものなりと云へど尤に理屈のある事なれば健藏の申し立てが果して事實か什麼かは判らずと知るべし

●二錢五厘の喧嘩　南部樂善坊上墨洞一統四戸の劉相國（三十七）といへるは五錢一錢の駄菓子を商へる者なるが去る十二日の午前十一時頃新聞配達夫なる群馬縣碓井郡枝花町の生れにて南大門通旅人宿尾張屋に滯在中の須田增藏（二十）が其の店に至り二錢五厘の菓子を喰ひ代價が高いとか高くないとかいふことより双方組打となりし所を巡査が認めて南部警察署に連れ歸りしが双方とも負傷もなきより說諭にて放免せられたり

●小兒の喧嘩　去る十二日午後四時頃南署明洞金壽金（十三）は附近の遊び友達姜護童（十三）と遊戯し居りしに何が起りかは知らねど喧嘩を始めしが其の際金は姜の自分より年少なるを侮り石を以て撲りしかば姜は微傷を負ひ泣く〳〵家に歸り斯くと兩親に物語りしより兩親は其旨警察署へ訴へ出たり

●巡査憲兵に引立てらる　去る十一日午後七時頃憲兵が市中警備の爲め巡邏中多人數の群集して喧々囂々たるより何事ならんと覗き見れば南部警察署の韓人巡査曹益周といへるが日本人と喧嘩をなし居れるより憲兵は兩者を拉して銅峴分署へ引渡たりと

●龍山の轢死　去る十一日京城大和町三丁目鐵道管理局官舍第五號中西某方の下女ウメなる者龍山停車場に於て轢死を遂げたるが原因は過誤ならんといふ者あり又或る事情の爲めに覺悟の上にて自殺せしならんといふ者あり未だ何れか判明せず

●牛泥棒の處刑　愛媛縣生れの柳原茂八といふ奴は去る七日の夜仁川港山根町二丁目の佐藤喜市方の牛小屋に繫ぎありし牡牛一頭を竊取し牛はいらぬか〳〵と賣り歩行く所を巡査に捕へられ去る十一日當地理事廳に於て重禁錮二ケ月監視六ケ月に處刑せられたり

●報知代理部の設置　東京の報知新聞社にては代理部を設け諸般の物品購入に就て讀者に多大の便宜を與へ來りしが今回韓國に於ける讀者に對し其便益の爲め旭町一丁目の同新聞支局に代理部を新設したることは既報の如くなるが同代理部に於ては本社の代理部と連絡して何品に依らず注文に應じ殆んど原價同樣にて之を便する由なり

●醫術開業　福岡縣人醫師吉田三省氏は今回在韓知人の懇請に依り來韓南大門外御成町に於て醫業を開業し一般患者の診療に從事すると云ふ氏は鄕里福岡縣大牟田港に於て十數年間醫業に從事し最も患者の好評を博せし人なりーと因みに皮膚病は氏の最も長所なりと

●植物園の開園式　去る十二日東崇信坊植物園にては開園式を擧行したり

●木の芽田樂の開業　旭町一丁目大阪豆腐の製造元中瀨商店にては今回木の芽田樂の仕出に應ずる由にて食道樂連中の申込みは早くも頻々たりと

●對瀨川巡査義捐金　十一日迄の分如左

一金貳圓也　中村健太郎
一金五圓也　關谷勇
一金貳圓也　大村保太
一金壹圓也　龍山小學校生徒　中山貞一郎
一金貳圓也　依田文吉
一金五圓也　主殿院卿　李謙濟
一金參圓也　主殿院理事　黃鎭國
一金壹圓也　太島豐齋
一金五拾錢也　主殿院主事　鄭仲永
一金五拾錢也　同　李明宇
一金五拾錢也　同　文顧鎭
一金五拾錢也　同　鄭寅健
一金五拾錢也　同　金性根
一金五拾錢也　同　車顯聲
小計金貳拾四圓也
累計金參百拾八圓參拾五錢也

尚は同巡査に對する同情者頗る多く大阪にても同地新聞社に宛て義捐したる金額少からずと

大阪商船株式會社

船客運賃値下

◎四月一日ヨリ左之通三等船客運賃ヲ引下ゲ申候

仁川ヨリ
一神戸　大阪行　金八圓
一門司下ノ關行　金六圓
一宇　品行　金七圓
一長　崎行　金七圓
一鎭南浦行　金三圓
一龍岩浦・新義州・安東縣行　金五圓

京城ヨリ（京仁間汽車賃含ム）
一神戸　大阪行　金八圓五十錢
一門司下ノ關行　金六圓五十錢
一宇　品行　金七圓五十錢
一長　崎行　金七圓五十錢

●御注意　團体ニハ特別ノ割引アリ　往復切符ハ復航二割引

大阪商船株式會社仁川支店（電話一二〇番）（同二二番）

京城本町二丁目角　林田商店切符發賣所（電話六五番）

京城南大門通　慶田組出張所（電話九四九番）

開業廣告

◎內科　◎外科　◎眼科
◎婦人科　◎小兒科

今般左記之處に於て開業致し懇切と叮嚀を旨とし一般患者の診療に應す

京城南大門外御成町

吉田病院

院主　吉田三省

工事請負廣告

一、仁川稅關長官舍新築工事

右競爭入札ニ附ス請負望ノ者ハ隆熙二年五月四日マデニ當部又ハ仁川出張所ニ就キ入札心得書契約書案工事仕樣書及圖面等熟覽ノ上來ル五月五日午前十一時當部ニ出頭入札スヘシ即時開札ス

入札保證金ハ各自見積價格ノ百分ノ五以上此契約ハ臨時稅關工事部長坂出鳴海擔任ス

隆熙二年四月十三日

臨時稅關工事部

大聲蓄音器

音譜各種

家庭の娛樂用　蓄音器貸

壹席金五圓也

但し音譜二打附其他は一打を増す毎に金貳圓増受す

店員を派して叮嚀に其技術に當らしむ

京城本町　辻屋

本店電話二三　支店電話四六八六

張店御披露

ほの暖き今日此頃盛りを競ふ桃櫻野邊の千草も色增して遊ぶ胡蝶の面白さアレよコレよと枝好み今般當樓にては香り床しき仇花の數限りなく取揃へ粹樣方へ御高覽に供へ可申候間御散步旁々御來遊の程希ふものは

京城新町遊廓

大桝屋（電話六二番）

（いろは順）

花桐　花丁子　千代鶴　富次　千年
千鳥　若松　竹葉　梅葉　八重咲
萬代　松葉　文子　小貞　小蝶
貞子　白糸　文字　百代

仲居　すみ　さだ　つる　たか

夏物新着荷大賣出し
空氣呼鈴並に室内電話
斬新流行の洋傘やねくたい其の他歐米雜貨各種荷着致し候間御觀覽旁々當店へ御來店有られん事偏に乞願奉り候敬具
韓國京城本町六丁目
歐米雜貨商 中塚支店

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 八拾萬圓
京城南大門通(電話四二〇)
株式會社 十八銀行 京城支店
本店 長崎市榮町
支店出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山 韓國
大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐 日本
其他日本韓國樞要地及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金(一口壹錢以上何程にても御預り申候)(利息日歩壹錢四厘)
長崎貯蓄銀行代理店(十八銀行京城支店)

謹告
エジプト莨及マニラ葉卷其他煙草類各種
西洋雜貨洋酒洋菓子並に支那糖菓及紅茶
廣告在韓清國人
大連安徽頭彩 金壹萬圓 第三十次(陰暦四月二十日)(清暦三月二十日)開彩
湖北頭彩 金五萬圓 第七十五次(陰暦四月廿七日)(清暦三月廿七日)開彩
江南頭彩 金壹萬圓 第十六次(陰暦四月十六日)(清暦三月十六日)開彩
定價 湖北彩票全紙金七圓五拾錢 小切八拾錢
江南彩票全紙金七圓 小切七拾五錢
大連彩票全紙金壹圓參拾錢
安徽彩票全紙金壹圓參拾錢
西洋雜貨商 源源號
京城水漂橋二宮街



西洋御料理宴會
日本人俱樂部
京城南山町三丁目電話(一二三番)

會席御料理
並に仕出し
京城三好町歌舞伎座前
筑紫亭

一各種石炭大販賣
大の浦塊炭
豆田塊炭
大辻塊炭
ストーブ用として右三種取寄せ貯炭罷在り御希望に從ひ多少に拘はらず迅速御屆け可申上候
三池粉炭
鍛冶用として貯炭罷在り多少に係はらず御用に應し可申候
當社一手販賣炭左之通り
三池、田川、伊田、山野、金田、豆田、津波黑、藤棚本洞、大の浦五尺、大の浦三尺、笹原、滿の浦芳雄、大辻、白岩、柚木原、岸嶽等
三井物産合名會社
京城出張所(電話二十六番)
仁川出張所(電話六十三番)

開店御披露
御料理
並に壽き燒かしわ
新築落成仕候に付き客月二十九日より開業罷在候間續々御來車被下度奉願上候敬具
京城南山町三丁目
〇勝

銀行一般の業務精々御便利に御取扱可申候
資本金三百万圓
本店 大阪市西區北堀江通五丁目
支店 釜山 仁川 平壤 鎭南浦 安東縣
株式會社 第五十八銀行京城支店(電話五八番)
爲替取組外
京釜 二十七ケ所
東山南北海道 十三ケ所
山陽海 七十五ケ所
内道道道 二十三ケ所
九州 二十五ケ所
東海道 二十八ケ所
北陸道 十三ケ所
西山道 三十三ケ所
韓國 十ケ所
清國 九ケ所

▲電車割引券發賣
▲電車割引券改正
▲龍山線區域改正
▲電車發着時間改正
四月一日より鍾路本社及龍山電車停車場にて發賣す
六十枚綴一冊に付金二圓八十五錢何れの區域にも使用し得べし
四月一日以後は南大門驛前を境界點とし同點より鍾路及龍山迄を各一區域とす
四月一日以降は夏期時間表に依り電車を運轉す
韓國電氣會社

日本澤庵
味噌醬油製造
乾物荒物鑵詰
銘茶食料雜貨
漬物問屋 大上商店
京城本町五丁目(電話二五一番)

原金旅館
本店 仁川理事廳通(電話三三一番)
支店 京城南山町(電話一〇七番)

拾有八年の實驗
最新學術の應用
齒科醫 勳六等 楢崎東陽
京城南山町三丁目(日本人俱樂部向)



和洋會席御料理
並に仕出し
京城本町一丁目
曙亭

●大阪豆腐●
大阪滋養豆ソップ
右は一合三錢にて朝夕配達仕候間御入用の御方ははがきにて御一報被下度候
豆腐木の芽でんがく
右は一人前十三錢にて仕出し可仕候
●木の芽田樂●
京城旭町壹丁目
中瀨商店

家庭の娛樂用 蓄音器賃貸
壹席金五圓也
(但し音譜二打附其他は一打を增す每に金二圓增受す)
町噂に店員を派して其技術に當らしむ
右廣告す
東京三光堂韓國總代理店
京城
辻屋
電話 本店二四八番 支店三六六番

一萬染物
〇小もん 〇紋付類
〇友仙 〇旗幕其他いろ〱
〇さらさ
あらひはりものし
〇黑かすりは弊塲獨特の染法により古浴衣古双子等地色ぬきの上耐久不變の染料を用ひ調進可仕候也
大和町三丁目梅の家前
平岩染工場

支店開業廣告
弊店ハ韓國ニ於ケル唯一ノ電氣機器專問ノ販賣店也
營業科目
電氣諸機械製造販賣並ニ修繕
電燈裝飾品、並ニ教育用器具各種
電燈、電信、電話、呼鈴、避雷針等 布設工事設計受負
電氣扇風器、醫療電機、表示器、盜難用報知器、電池、電線、電球、電傘等各種
右ニ關スル外苟モ電氣ニ關スル萬般ノ事業ハ勿論室內外ノ架線取付工事ヨリ電話用、電池ノ掃除ニ至ル迄悉皆特ニ弊店獨特ノ長技ヲ以テ誇ル所普ク江湖ノ需ニ應ズ可ク候條御一報次第直ニ拜趨設計ノ上約束可仕候
弊舖ハ數十年來、日本、東京ニ於テ該營業罷在リ候處今般左記ノ所ヘ支店設置開業仕候依之各種機械類ハ歐米各國嶄新ノ品ハ無論東京工塲自製堅牢ノ品ヲ以テ調達大々的廉價良品撰擇誠實迅速叮嚀ヲ旨トシ御好ニ應ズ可ク候條多少ニ拘ラズ御一覽ノ上格段ノ御用命伏テ奉希上候敬白
韓國京城長谷川町壹丁目四拾貳番戶
光電社支店
電話架設中
東京市芝區新堀町拾七番地
光電社本店
電話新橋三三一七番

一層業務を擴張し敏腕の事務員數名を增聘し迅速且つ懇切に左の事務を取扱ふ
一民刑訴訟の鑑定及諸般代書事務
一貸金賣掛金等に關する債權取立事務
一鑛山及土地の測量製圖並に出願手續
一會社組合銀行等の顧問
明治法律學校出身
京城本町一丁目
增本好三郎事務所(電話取次六二四番)

韓國京城
株式會社 第一銀行
電話番號 營業用 一一番 當直用 國庫用 六二番 營業用 三二番 分析所用 六二二番
本店 東京市日本橋區兜町
內地支店、出張所 大阪、京都、橫濱、神戶、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、大阪西區、東京新大阪町
韓國支店、出張所 仁川、釜山、元山、鎭南浦、群山、平壤、木浦、大邱、開城、咸興、城津、馬山、鏡城
清國安東縣
右爲替取引先あり
は內外各地重要なる塲所に營業事務に關する御用向は當店營業課長に御相談被下度候

表具師
襖新調
並ニ張替
京城旭町三丁目三ケ月旅館前
高瀨光榮堂

訴訟、鑑定、契約起案、諸願屆、登記書類代書、土地家屋賣買、金錢貸借、電話賣買等の周旋
京城本町一丁目警察署前
明法學士 小川勝平事務所
電話四十一番

日本郵船株式會社
仁川 瀛船出帆廣告
貨物及船客取扱店
仁川海岸通 郡回漕會(電話三九番)
京城南大門通 巴商店(電話三〇六番)
●釜山長崎門司神戶行 山東丸 四月十二日 後三時出
●群山、木浦、釜山、門司、神戶、大阪行 第一オハヨ號 四月十二日 後四時出
●大連、大沽、牛莊行 釧路丸 月 日 後三時出
●大連、大沽、牛莊行 高砂丸 山東丸 四月 日 四月廿八日 前五時出
●鎭南浦行 酒田丸 四月廿三日 後一時出
●鎭南浦行 第一オハヨー號 四月 日 後三時出
●釜山出帆、元山浦鹽行 弘前丸 四月廿二日
御注意 御乘船ノ際ハ税關波止塲ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ノ事